

発行 日本共産党南知多支部



連絡先  
〒470-3321 南知多町  
内海内塩田77-3  
(南知多町議会議員)  
内田 保  
電話 0569-62-1816  
携帯 090-2776-7529

# 内田たもつだより

内田たもつ ホームページ  
http://uchida-tamotsu.jimdo.com



日本共産党発行  
**赤旗**  
日刊 月3497円  
日曜版 月930円

## 師崎港観光センター周辺整備・運営事業に約30億円

### 8月25日南知多町臨時議会開かれる

8月25日、全員協議会の後、南知多町臨時議会が開かれました。議題は①海つ子バスの購入について②師崎港観光センター周辺整備運営事業の契約について③補正予算についての3議案でした。

特に、師崎港観光センター周辺整備運営事業の仮契約を本契約にするために、議会で契約額29億6539万円の承認を必要とするものでした。

内田議員は、全員協議会・本議会で3議案全てに、質疑をし、明確でない点について説明を求めました。特に、師崎港観光センター整備という大きな事業の約30億円という予算の使途の妥当性・透明性について質問しました。

このグループは、「矢作地所株式会社」「株式会社まるは」「中口設計株式会社」「有限会社大井毎日」「名鉄協商株式会社」「矢作建設工業株式会社」の6社で構成され、今回で「南知多未来パートナーズ株式会社」を立ち上げました。

### 「南知多未来パートナーズ株式会社」と契約

師崎港周辺整備事業の契約は、駐車場増設と船乗り場の建設工事、今後2027年までの運営のための総合評価一般競争入札方式で行われました。審査方法については外部有識者を含む5人の審査委員が工事・運営に係る提案に対する審査を行い、評価点を付けます。合わせて両者からの入札価格により価格点を付け、合計により落札者が決定されました。



師崎港観光センター

入札に参加した2社は、250グループと251グループとを分けられました。入札の落札者は251グループの矢作地所グループでした。



このグループは、「矢作地所株式会社」「株式会社まるは」「中口設計株式会社」「有限会社大井毎日」「名鉄協商株式会社」「矢作建設工業株式会社」の6社で構成され、今回で「南知多未来パートナーズ株式会社」を立ち上げました。内田議員は、落選した250番の会社名も明確にするように要求しましたが、250グループの了解を得た後、実名を公表させてもらいたいとのごとで、公表されませんでした。知多南部のゴミ処理場(ゆめくりん)の工事・運営入札では、3社が同じような入札で、3社の会社名もホームページに明確にされています。今回約30億円という大きな税金を使う工事入札です。町民に対して会社名を公表し、透明な入札結果を周知すべきです。

### 予定価格29億8900万円 最低制限価格は設定せず

価格入札については、最初予定価格を明確にしませんでした。内田議員が質問して、当局は、29億8900万円と回答しました。また、町の契約規則にある最低制限価格を今回設定しなかったことは問題です。契約の透明性・公平制・競争性の確保に留意し、町の契約規則に従うことは、総合評価一般競争入札方式でも守らなければなりません。入札は、提案点700点、価格入札点300点で評価されました。入札価格

250グループ	29億8880万円
	297・6点
251グループ	29億6530万円
	300点
提案の定性評価点では、	
250グループ	419・5点
251グループ	439・8点
結果、総合評価で	
250グループ	717・1点
251グループ	739・8点

この結果、251グループ(矢作地所グループ)である「南知多未来パートナーズ株式会社」が落札したということです。仮契約から本契約に進み、基本契約、基本設計、実施設計に進んでいきます。令和6年3月に着工し、令和7年10月に竣工となります。

### (川柳コーナー)

天然記念物岬に残るウバメガシ  
羽豆岬には国の天然記念物に指定されたウバメガシの森があります。東西南を海に囲まれ、羽豆神社の鎮守の森のため、ほぼ原生林に近い状態で残っている貴重な自然です。

### 入札は適正だったのか

251番の「南知多未来パートナーズ株式会社」と250番の会社は、わずか20点の差です。250番のグループが、入札価格評価点を上げるなら逆転もありえた数字です。

武豊の「ゆめくりん」ゴミ処理場工事では、現実には価格入札を逆転しています。町は、予定価格を最初に両者に伝えて入札をしています。250グループは、なぜ予定価格よりわずか11万円しか安くしなかったのか疑問が残ります。

### 適正な工事の監視と運営のチェックが課題

質疑で明らかになったのは、工事費で16億円、令和7年度からの南知多未来パートナーズ株式会社による20年間の運営費が13・6億円かかるということです。

運営は、南知多パートナーズ株式会社が行うことから、南知多町は適正な工事の監視、運営の監督などを行わなければならない。第三者機関によるモニタリングを行うなど、本事業に対する適正かつ透明性のあるチェック体制の構築が求められます。